

嘉瀬川水系渇水調整協議会 設立の趣旨

近年における生活水準の向上、社会経済活動の発展に伴い、水の需要はますます増大しており、水利用に関しても安定的供給に対する要請がより一層高まっている実状にある。

また、近年の気象傾向をみるに、平成6年の大渇水を含め少雨傾向が続いている状況であることから、水需要の増大している中での渇水時における水利用の調整は、複雑多様化する傾向にあり、今後の渇水時の対応は、総合的な水利用の調整が重要となってきている。

このようなことから、渇水時における各利水者の円滑な水利用が図られるよう諸開発施設などの運用ルールを検討し、水利用に関する諸問題を協議する場として「嘉瀬川水系渇水調整協議会」を設立するものである。

なお、嘉瀬川における過去の渇水調整は、北山ダム及び川上頭首工の既得農業利水者を中心に水利用の調整が図られてきた経緯がある。関係機関はこれまで培われてきた嘉瀬川における利水実態を踏まえ、日頃から合理的な水利用や節水等に努め、従来の河川水利秩序との調和を図りつつ、渇水時の水利用を円滑に推進するものとする。

設立年月日：平成24年10月12日

嘉瀬川水系渇水調整協議会規約

(名 称)

第1条 本会は、嘉瀬川水系渇水調整協議会（以下「協議会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 協議会は、嘉瀬川水系の渇水時における関係利水者間の水利用の連絡及び調整を円滑に行い、もって合理的な水利用の推進を図ることを目的とする。

(協議事項)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事項を協議するものとする。

- 1 水利用の連絡、調整の時期及び方法に関すること。
- 2 嘉瀬川水系における水利用の実態に関すること。
- 3 実施及び連絡体制の確立に関すること。
- 4 その他協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(組 織)

第4条 協議会は、別紙の委員によって組織する。

- 2 会長は、九州地方整備局佐賀河川事務所長の職にある者をもってあてる。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を掌理する。

(協議会の開催)

第5条 協議会は、会長が必要と認めるとき、若しくは委員の要請があった場合に開催する。

(幹事会)

第6条 協議会に幹事会を置く。

- 2 幹事会は、協議会の運営に関し、協議会に提案する事項をあらかじめ整理するとともに、協議会から委任された事項を処理する。
- 3 幹事会は、別紙に掲げる職にある者をもってあてる。
- 4 幹事会に幹事長を置き、九州地方整備局佐賀河川事務所技術副所長の職にある者をもってあてる。
- 5 幹事会は、必要に応じ幹事長が招集する。
- 6 幹事長は、幹事会の運営に関し必要な事項は、幹事会に諮って定める。

(事務局)

第7条 協議会の事務を行うため事務局を置く。

- 2 事務局は、九州地方整備局佐賀河川事務所に置く。
- 3 事務局の運営に関し必要な事項は、幹事長が定める。

(規約の改正)

第8条 協議会は、この規約を改正する必要があると認めるときは、委員の総数の三分の二以上の同意を得て、これを行うことができる。

(雑 則)

第9条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規約は、平成24年10月12日から施行する。

(平成25年 7月 22日 一部改正)

(平成26年 5月 29日 一部改正)

(平成28年 6月 3日 一部改正)

(平成29年 5月 25日 一部改正)

(令和 元年 5月 9日 一部改正)

(令和 3年 3月 10日 一部改正)

(令和 3年 8月 4日 一部改正)

(令和 4年 4月 25日 一部改正)

(令和 6年 6月 10日 一部改正)

(令和 8年 2月 20日 一部改正)

(令和 8年 5月 日 一部改正)

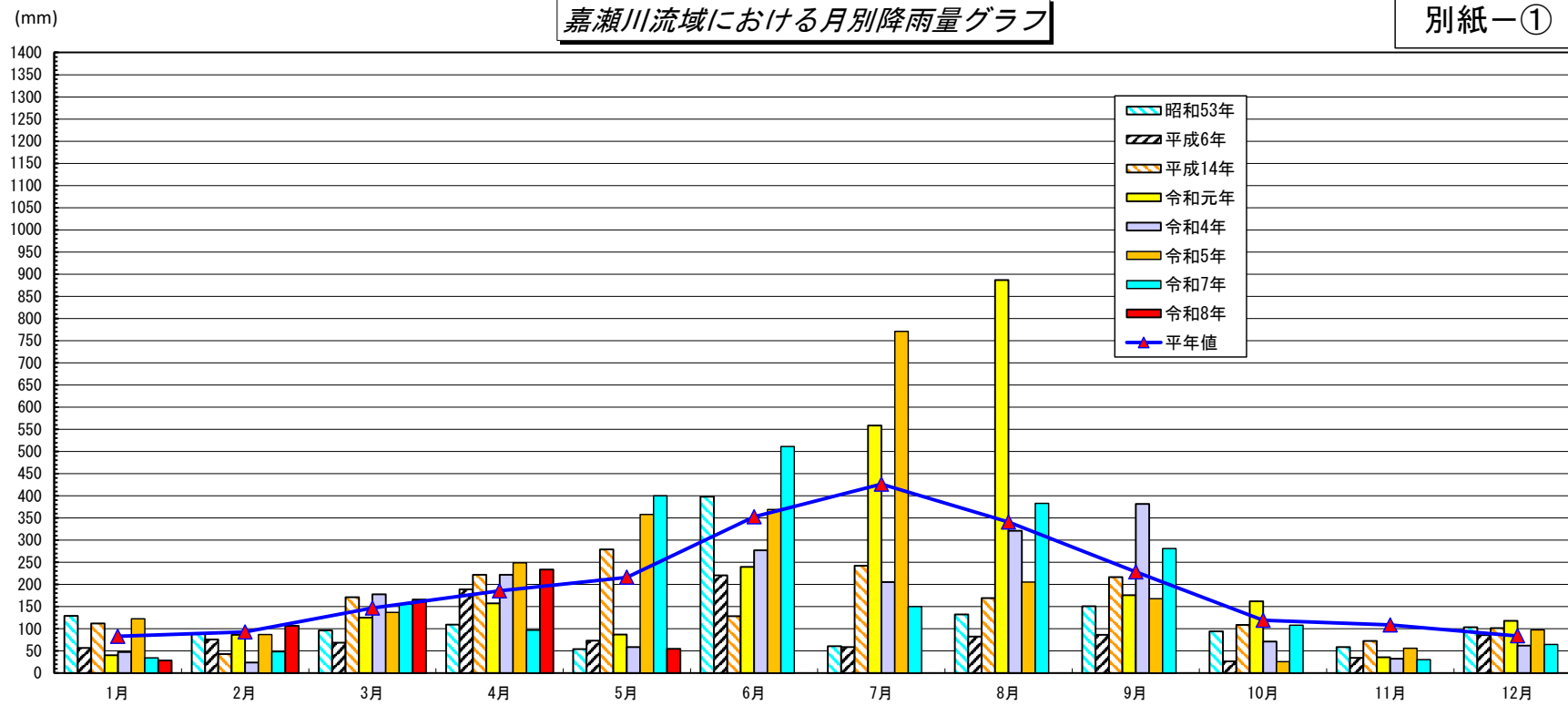
(別 紙)

令和8年5月20日 現在

機 関 等 名	委 員	幹 事
農林水産省 北部九州土地改良調査管理事務所	所 長	企画課長
佐賀県 県土整備部 農林水産部 健康福祉部 産業労働部	部 長 部 長 部 長 部 長	河川砂防課長 城原川ダム等対策室長 農山村課長 水産課長 生活衛生課長 企業立地課長
佐賀市 (建設部) (農林水産部)	市 長	河川砂防課長 水問題対策審議監 農村環境課長
小城市 (建設部) (産業部)	市 長	建設課長 農村整備課長
佐賀土地改良区	理 事 長	事務局長
佐賀県筑後川佐賀西部地域推進連絡協議会	会 長	事務局長
九州電力株式会社 佐賀水力センター	センター長	副センター長
佐賀市上下水道局	上 下 水 道 事業管理者	浄水課長
王子マテリア株式会社 佐賀工場	工 場 長	事務部部長
杵島工業用水道企業団	企 業 長	事務局長
佐賀西部広域水道企業団	企 業 長	浄水課長
国土交通省 佐賀河川事務所	所 長	技術副所長 管理課長 流域治水課長 嘉瀬川出張所長 嘉瀬川ダム管理支所長

嘉瀬川流域における月別降雨量グラフ

別紙-①



月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年値	82.9	92.7	146.9	185.6	216.0	352.6	426.2	340.6	228.2	119.2	108.8	83.9	2,383.7
昭和53年 (平年比)	129.3 155.9%	90.1 97.2%	95.9 65.3%	109.0 58.7%	54.2 25.1%	398.0 112.9%	60.3 14.2%	132.3 38.9%	150.6 66.0%	94.1 79.0%	58.9 54.2%	103.1 122.9%	1,475.8 61.9%
平成6年 (平年比)	56.6 68.2%	75.4 81.4%	68.5 46.6%	188.7 101.6%	72.8 33.7%	220.3 62.5%	58.3 13.7%	82.1 24.1%	86.2 37.8%	26.3 22.1%	34.3 31.5%	85.5 101.9%	1,055.0 44.3%
平成14年 (平年比)	111.7 134.7%	43.2 46.6%	171.2 116.5%	221.6 119.4%	278.9 129.1%	128.1 36.3%	241.9 56.8%	169.1 49.6%	216.2 94.8%	108.3 90.9%	72.1 66.3%	101.7 121.2%	1,864.0 78.2%
令和元年 (平年比)	40.2 48.5%	86.4 93.2%	125.2 85.2%	157.6 84.9%	86.7 40.1%	239.6 68.0%	558.3 131.0%	886.9 260.4%	175.6 77.0%	162.1 136.0%	35.3 32.4%	117.7 140.2%	2,671.6 112.1%
令和4年 (平年比)	47.6 57.4%	24.0 25.9%	177.5 120.8%	221.7 119.4%	58.3 27.0%	277.3 78.7%	205.6 48.2%	320.8 94.2%	381.6 167.2%	71.1 59.7%	32.6 30.0%	61.8 73.6%	1,879.9 78.9%
令和5年 (平年比)	122.4 147.6%	86.7 93.5%	136.9 93.2%	248.8 134.0%	357.6 165.5%	368.9 104.6%	770.7 180.8%	205.4 60.3%	168.1 73.7%	25.6 21.5%	56.0 51.5%	97.4 116.0%	2,644.5 110.9%
令和7年 (平年比)	34.2 41.2%	48.4 52.2%	155.2 105.7%	96.6 52.0%	399.8 185.1%	511.1 145.0%	150.3 35.3%	383.1 112.5%	280.8 123.1%	107.9 90.5%	30.1 27.7%	64.4 76.7%	2,261.9 94.9%
令和8年 (平年比)	28.6 34.5%	106.5 114.9%	166.0 113.0%	233.9 126.0%	54.8 25.4%	0.0 0.0%	0.0 0.0%	0.0 0.0%	0.0 0.0%	0.0 0.0%	0.0 0.0%	0.0 0.0%	589.8 24.7%

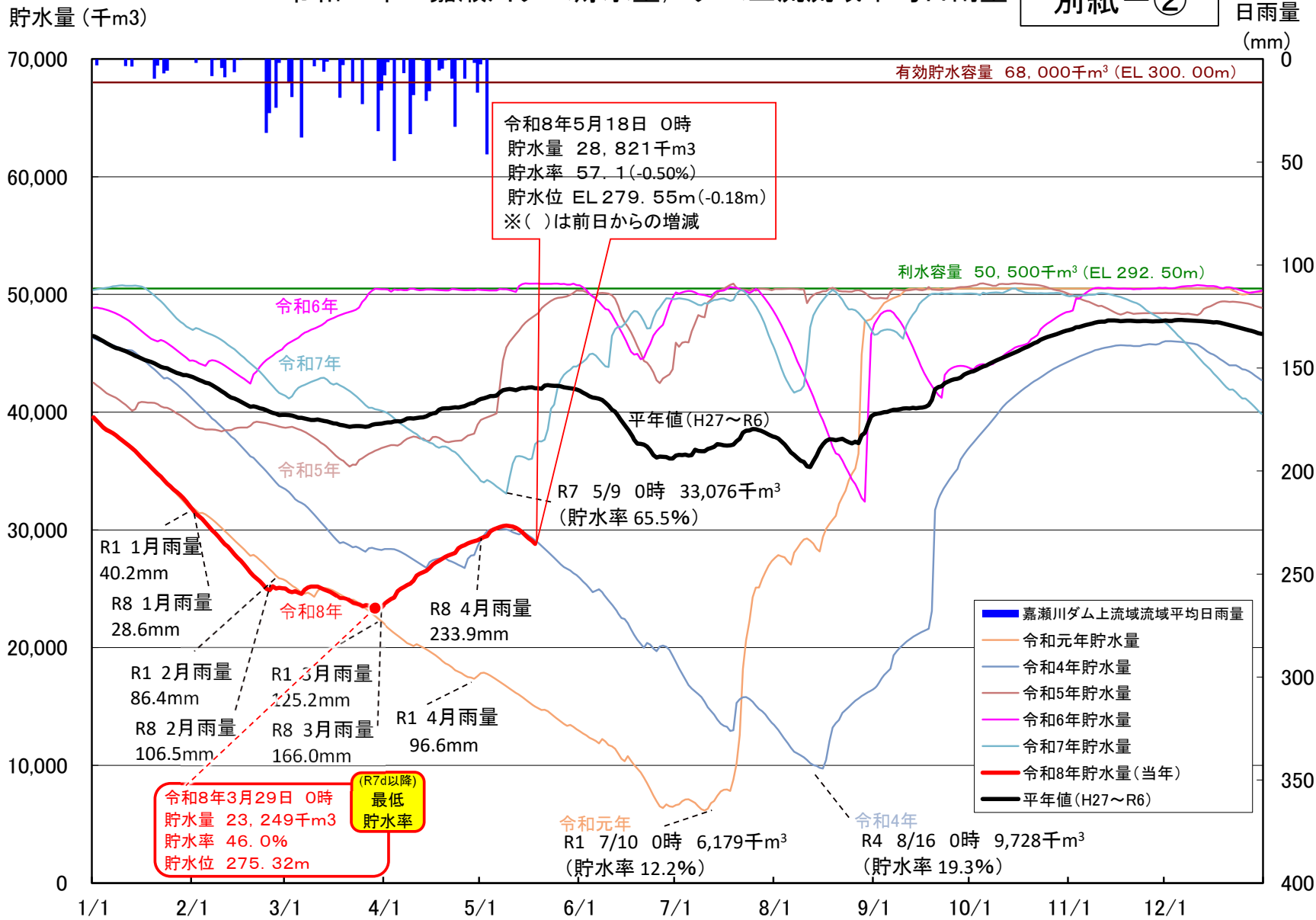
※主に8箇所の雨量観測所（宇渡、古場岳、平松、杉山、嘉瀬川ダム、古湯、名尾、祇園）の観測値から計算した流域平均雨量

※平年値は1996～2025（直近30年）の平均

※R8年5月18日0時現在（速報値）のデータ

令和8年 嘉瀬川ダム貯水量, ダム上流流域平均日雨量

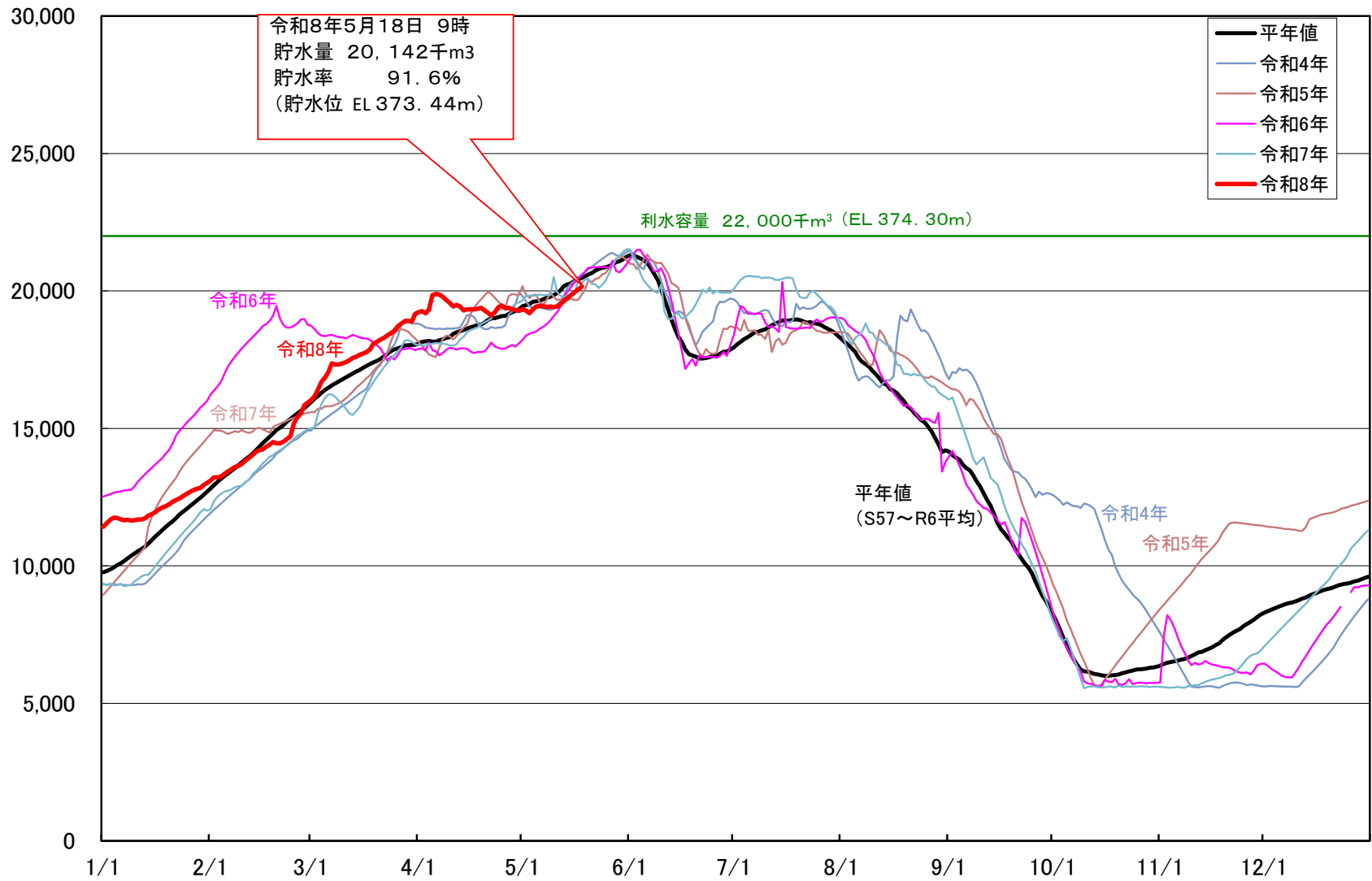
別紙一②



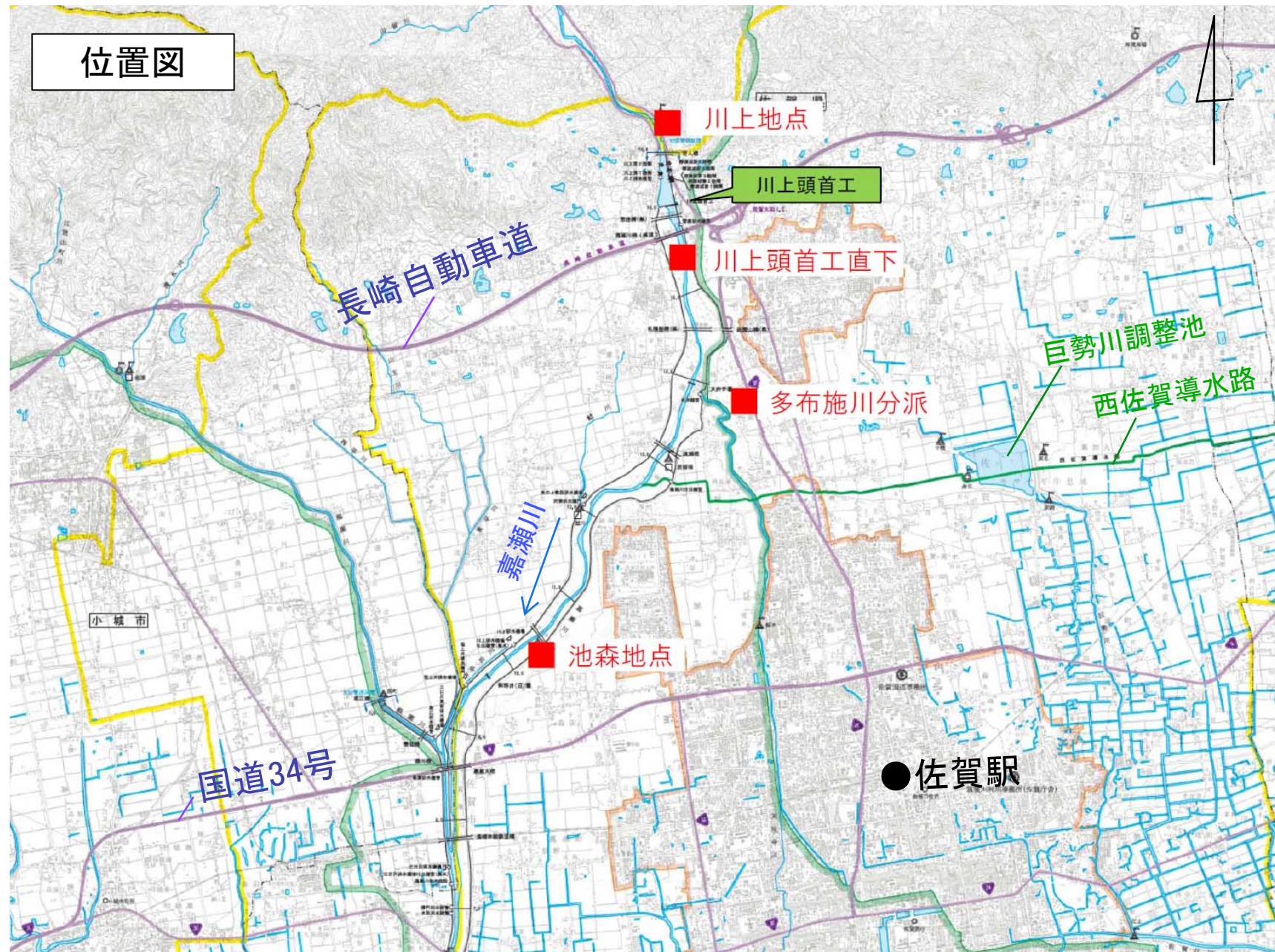
令和8年 北山ダム貯水量グラフ

別紙-③

貯水量 (千m³)

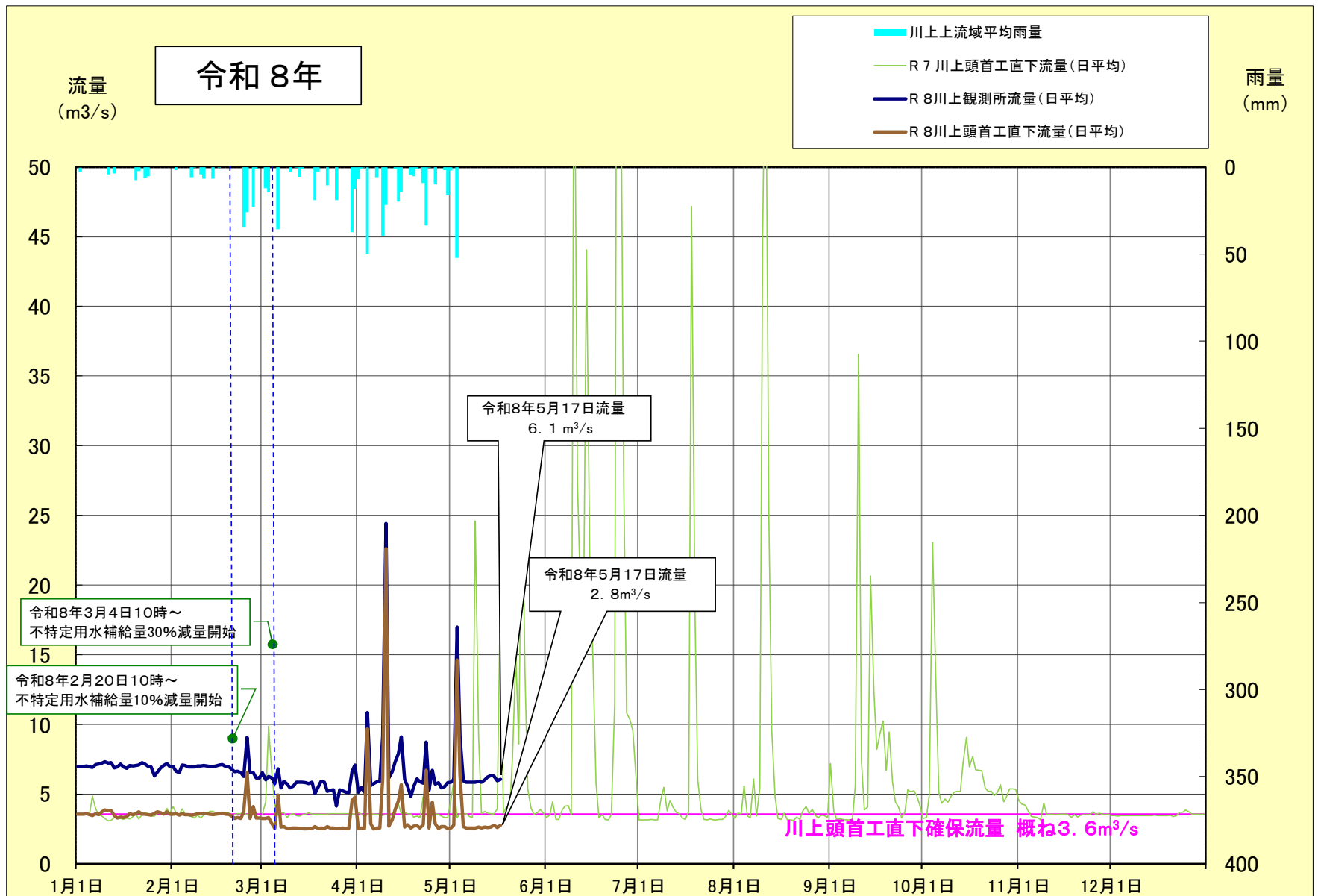


(嘉瀬川水系) 主要地点の河川流況について



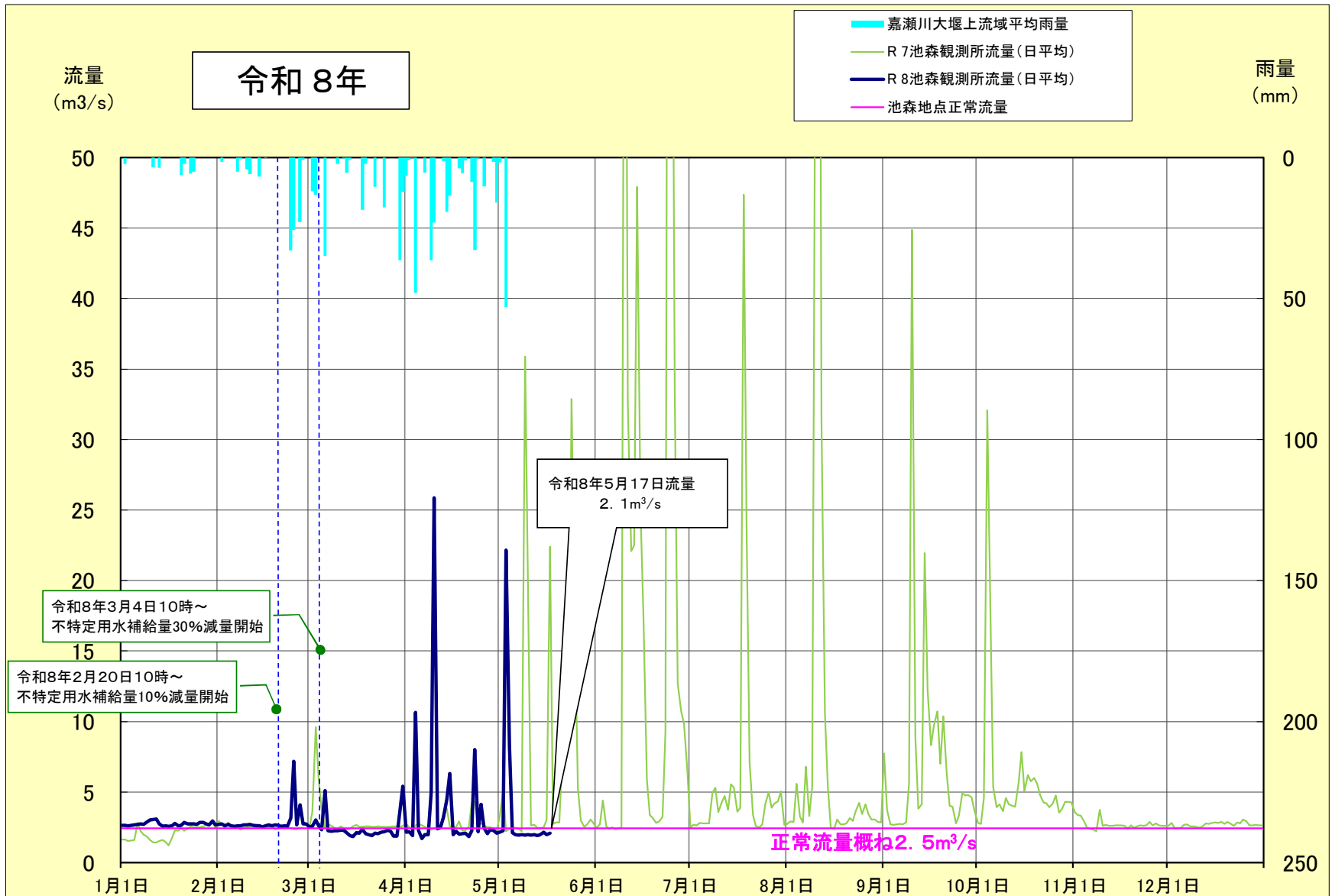
【嘉瀬川】川上流量・川上上流域平均雨量（速報値）

別紙一④



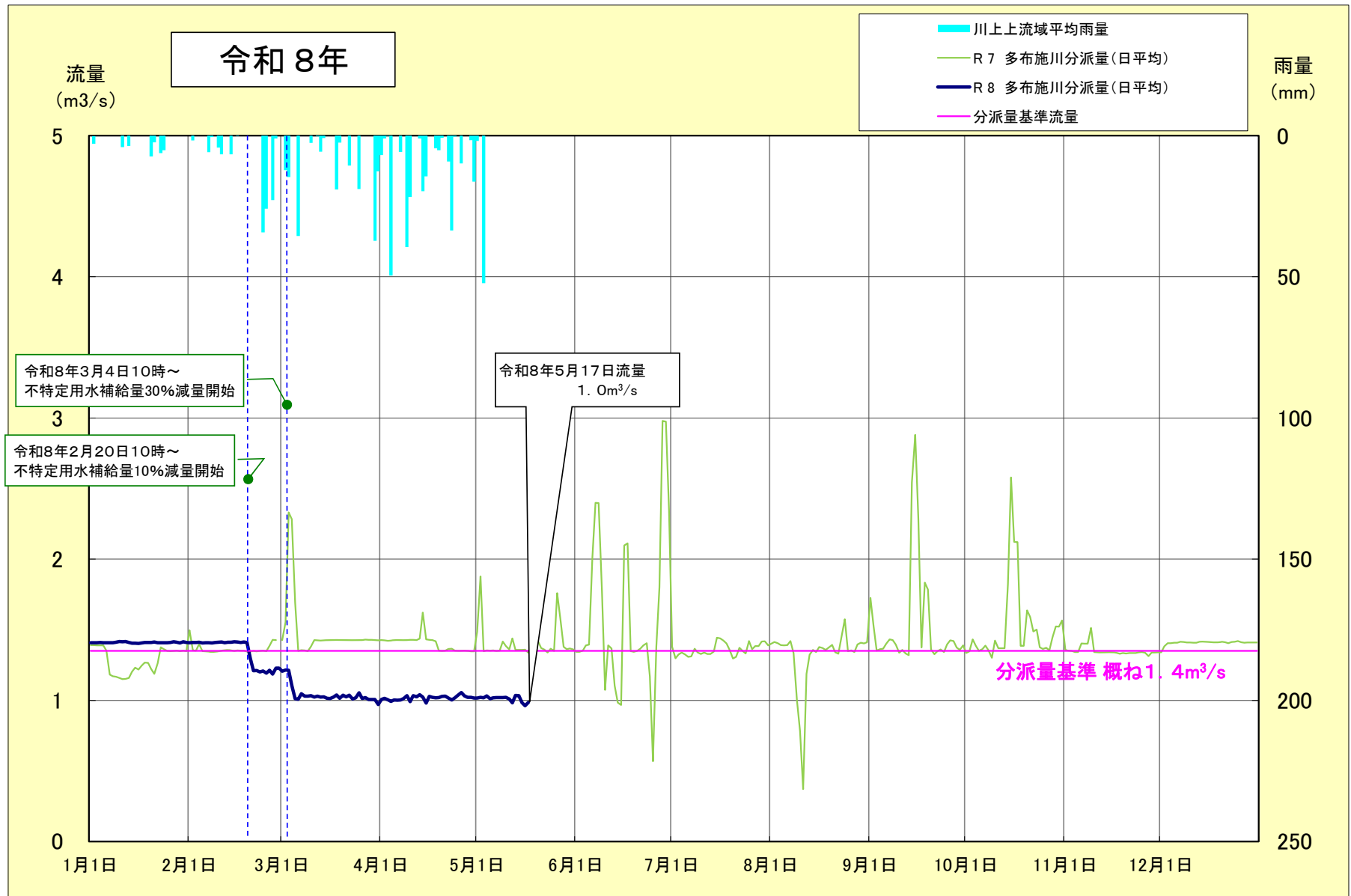
【嘉瀬川】池森観測所流量・嘉瀬川大堰上流域平均雨量（速報値）

別紙一⑤



【嘉瀬川】多布施川分派量・川上上流域平均雨量（速報値）

別紙一⑥



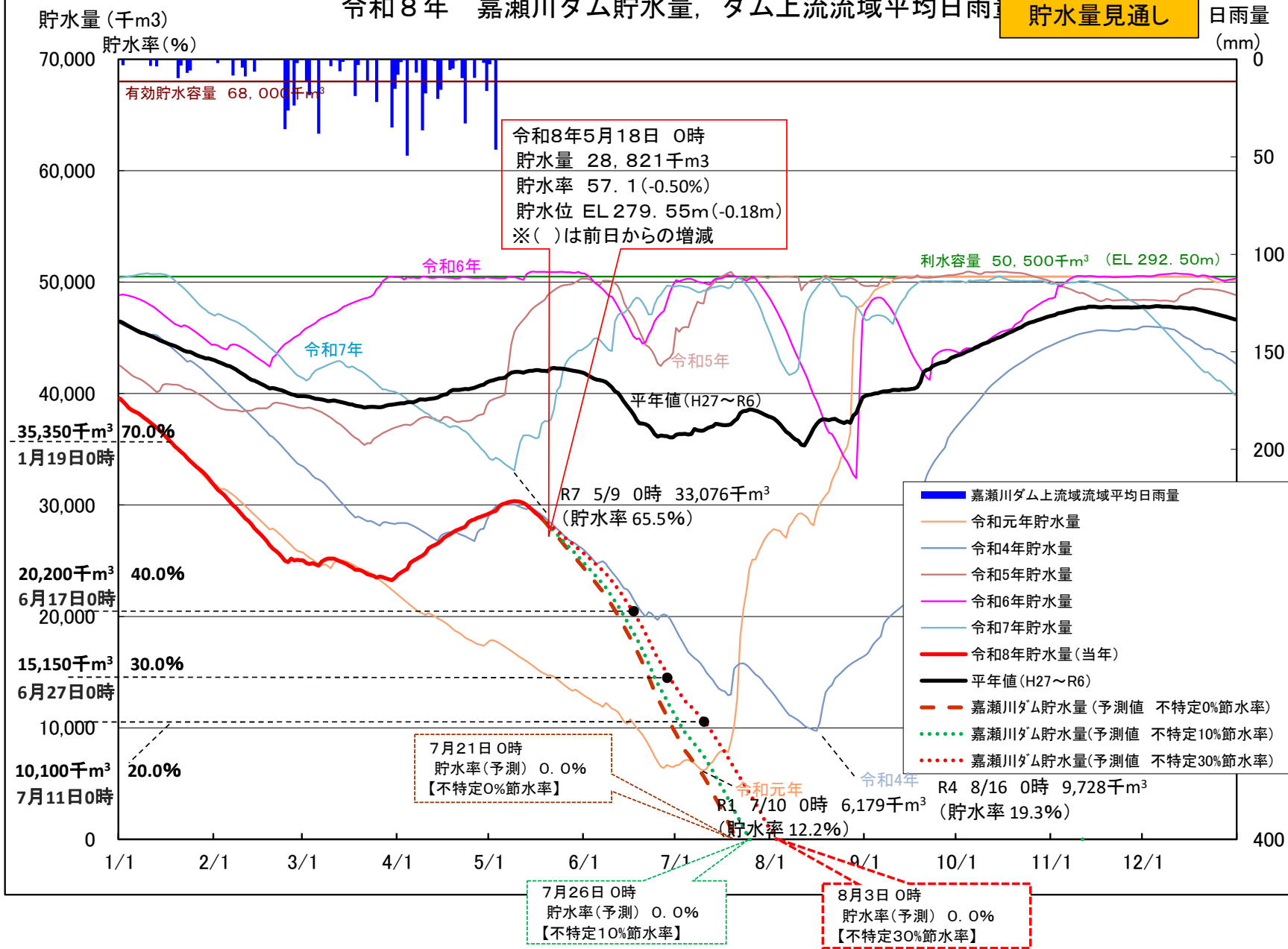
佐賀県内ダムの貯水状況

水系	ダム名（所在地）	計画 貯水量 (千m ³)	R8. 5. 19 9時現在		10年（H28- R7）平均値
			現況 貯水量 (千m ³)	現況 貯水率	
嘉瀬川	嘉瀬川ダム（国管理）	50,500	28,485	56.4%	-
松浦川	巖木ダム（国管理）	5,600	5,320	95.0%	-

松浦川	本部ダム（武雄市）	750	630	84.0%	90.3%
松浦川	平木場ダム（唐津市）	424	406	95.8%	89.6%
松浦川	伊岐佐ダム（唐津市）	160	110	68.8%	66.5%
松浦川	狩立・日ノ峯ダム（武雄市）	1,040	1,040	100.0%	98.5%
松浦川	井手口川ダム（伊万里市）	1,260	1,245	98.8%	95.4%
六角川	矢筈ダム（武雄市）	870	870	100.0%	97.7%
伊万里川	都川内ダム（伊万里市）	1,000	994	99.4%	95.7%
有田川	竜門ダム（有田町）	970	838	86.4%	89.6%
有田川	有田ダム（有田町）	780	673	86.3%	92.8%
塩田川	岩屋川内ダム（嬉野市）※	630	462	73.3%	71.1%
塩田川	深浦ダム（白石町）	20	20	100.0%	121.7%
塩田川	横竹ダム（嬉野市）※	1,900	1,900	100.0%	98.7%
鹿島川	中木庭ダム（鹿島市）※	2,800	2,626	93.8%	95.2%
	県管理13ダム計	12,604	11,814	93.7%	93.7%

令和8年 嘉瀬川ダム貯水量, ダム上流流域平均日雨量

(無降雨の場合)
貯水量見通し



向こう1か月の天候の見通し 九州北部地方（山口県含む）（5/16～6/15）

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
- 前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

向こう1か月の天候

- 期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（向こう1か月）	降水量（向こう1か月）	日照時間（向こう1か月）
九州北部地方（山口県含む）	低10 並10 高80% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1か月）</p>	<p>降水量（1か月）</p>	<p>日照時間（1か月）</p>

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の海面気圧（左図）では、日本の東の高気圧が日本の南へ張り出し、沖縄・奄美では期間の前半を中心に前線や湿った空気の影響を受けにくいでしょう。一方、華中から東・西日本付近には弱い気圧の谷が予測されており、東・西日本を中心に前線や高気圧の縁を回る湿った空気の影響を受けやすいでしょう。

上空約1500mの気温（右図）は、日本付近で平年より高く、全国的に暖かい空気に覆われやすいでしょう。

5/16 - 6/12
CONTOUR PSEA: 4hPa ANOMALY: 2hPa

海面気圧

5/16 - 6/12
CONTOUR TEMP.: 3°C ANOMALY: 1°C

上空約1500mの気温

季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

月別の天候

5月	<ul style="list-style-type: none"> • 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
6月	<ul style="list-style-type: none"> • 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
7月	<ul style="list-style-type: none"> • 期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

月別の平均気温・降水量

	平均気温 5月	平均気温 6月	平均気温 7月
九州北部地方（山口県含む）	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
数値は予想される出現確率 (%) です			

	降水量 5月	降水量 6月	降水量 7月
九州北部地方（山口県含む）	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率 (%) です			

補足事項

最新の1か月予報もあわせてご利用ください。

新しい予測資料を踏まえ暖候期の天候について検討しましたが、2月24日に発表した暖候期予報の夏（6～8月）の気温、降水量に変更はありません。梅雨の時期の降水量については、この3か月予報をご利用ください。